

**CONSULATE GENERAL OF JAPAN  
350 SOUTH GRAND AVENUE, SUITE 1700  
LOS ANGELES, CALIFORNIA 90071  
TELEPHONE (213) 617-6700**

南カリフォルニア日系企業協会 会員企業の皆様

平素より、在ロサンゼルス総領事館の業務に関し、多大なるご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大においては、感染のさらなる拡大防止への配慮やカリフォルニア州政府の自宅待避命令等の行動制限措置、日米両国の水際対策の強化等を受け、JBA 会員の皆様におかれましては、企業活動に非常に大きな支障を生じておられ、様々な困難に直面していると思います。日米両政府において、事業者への支援を含む経済対策が講じられるところ、事業継続のために最大限にご活用いただき、危機を乗り越えていくことを、心よりお祈りしております。皆様お困りのことがございましたら総領事館にお気軽にご相談いただけましたら幸いです。

また、困難に直面しているのは、南カリフォルニアも同じです。南カリフォルニアの感染者数は、4月7日時点で、1万1千人以上に達し、カリフォルニア州全体の約1万6千人の太宗を占めています。バーガーLA郡政官やガルセッティLA市長は、ニューサム知事と共に、他州に先駆けて積極的な対策を講じ、感染拡大を抑制するために、あらゆる措置をとっていますが、ピークアウトの明確な見通しは立っておらず、現場では、医療崩壊も起こり始めています。今後、2,3週間の動向が極めて重要と言われています。このような危機にあり、LA市は、諸外国からの支援を必要としています。南カリフォルニアがこの危機を克服し、再び、経済活力を取り戻すことは、南カリフォルニアのコミュニティの一翼を担う、日本コミュニティの利益でもあります。この機会に、日本コミュニティの知見の提供や貢献を通じ、この危機克服の一助となることは、日本コミュニティの存在感を高め、信頼関係をさらに強固なものにすることになります。南カリフォルニアの多様性の中で、今こそ、日本コミュニティがその力を発揮すべき時と考えます。何よりも東日本大震災で日本が大きな被害を受けた際に、米国から多大な支援をいただいたことを忘れてはいけなく考えています。当館としては、日本政府の知見をロサンゼルス地域に対して共有することで、わずかばかりでも感染症対策の支援をしていく所存でございます。

日本企業の皆様方におかれましても、些細な支援でも地元の利益に還元できることをご検討頂きたいと思っております。これまで、日米両国が、現在に至る良好な関係を築くことができたのは、当地で活躍される日系企業の皆様方が長年にわたりさまざまな形で地域に貢献され、揺るぎない信頼を得てきた基盤があるからに他なりません。今回も、すでにたくさんの日系企業が、米国の支援に動き出していることは承知しております。ロサンゼルス地域にとっても未曾有の危機に対して、日頃、経済的にお世話になっており、かつ、東日本大震災の際に支援してもらった恩に報いるべく、今こそ、ロサンゼルス地域に対して、義援の手を差し伸べてもらいたいと存じますところ、当地政府機関への仲介などが必要であれば、総領事館にお声がけいただけますと幸いです。

当館としても今後もより一層日本と南カリフォルニアのさまざまな絆を強化していく所存です。引き続き、皆様のご意見・ご提案をいただきながら、精一杯職責を全うして参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2020年4月9日  
在ロサンゼルス日本国総領事

武藤 顕

